

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	古文書解読編さん事業			会計	款	項	目	大事	小事
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	図書・博物館				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	小栗 信一郎				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山に関する古文書	意図	流山に関する資料をわかりやすいものにする。
事業内容	収集した古文書の整理・解読を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和42年度に市史編さん室が古文書の解読を開始し、昭和59年度からは博物館に設置された市史編さん係が引き継ぎ、平成14年度から博物館学芸係が担当している。平成5～11年度は、一部を大学等研究機関に委託して解読を実施した。平成21年度からは、恩田家文書の解読を行っている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	古文書総点数	24,341	27,357	27,552	点	→→	
②	解読資料点数/年度	350	968	1,097	点	→→		
③	総解読資料点数	8,937	9,905	11,002	点	→→		
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 恩田家文書解読 総数9,125点 ・委託解読数 820点 ・博物館解読数 2,649点（H21～H27） 解読済点数 3,469点（38.0%） 解読者数の不足により、進捗率が低い。	
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)								
事業費(b)(円)								
うち一般財源								
職員給与費(c)(円)								
人役・職員(人)								
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	古文書解読数の増加。	③取組の課題	未解読資料数を減らしていく。
②今年度(H28)に実施した取組	前年より解読点数を増やすことができた。	④今後の改善計画	古文書解読者の増員。